

2009 年度春期

応用数学Ⅰ (数学科)

情報数学特論
(理工学専攻情報学領域)

(担当: 角皆)

本講義の概要

- 情報通信の数理

- ★ 情報理論

- ★ 符号理論

- ★ 暗号理論

- それを支える数学

- ★ 有限体とその上の線型代数・Galois 理論

- ★ 情報量の理論・計算量の理論

情報通信を行なう際の要請

- 効率的に → 情報理論
- 確実に → 符号理論
- 安全に → 暗号理論

情報理論 (情報源符号化・情報量の理論)

- 伝えるべき情報をより効率良く伝えるには
- 「効率の良さ」を計る
 - ★ 伝えるべき「情報の量」を計る
 - ★ 伝える為の「手間」を計る

→ **Shannon**

「情報の量は伝えるのに必要な手間と一致」

符号理論 (誤り訂正符号)

- 通信路での雑音による誤りを
検出・訂正するための符号方式
- 誤りを検出・訂正するには
 - ★ 「冗長性」を持たせる
 - ★ しかしなるべく効率良く

→ 効率の良い符号の構成のために
様々な代数的性質を利用
(線型符号・代数幾何符号など)

暗号理論 (共通鍵・公開鍵暗号)

- 安全な情報生活の為に
 - ★ 秘密通信
 - ★ デジタル認証・署名
 - ★ 秘密分散
 - ★ 鍵共有
- 安全な暗号の実現
(RSA 暗号・楕円曲線暗号など)
- 安全性を計る (計算量の理論)

基礎となる数理の予備知識

代表的には、例えば次のような事柄

	基礎編	初級編
情報理論	微分積分・線型代数・確率論	
符号理論	有限体上の 線型代数	整数論・群論・ 代数幾何の初歩
暗号理論	初等整数論 (素数の話)	

他に、計算の理論 (計算可能性・計算量) など

情報通信を行なう際の要請

- 効率的に → 情報理論
- 確実に → 符号理論
- 安全に → 暗号理論

情報理論 (情報源符号化・情報量の理論)

- 伝えるべき情報をより効率良く伝えるには
- 「効率の良さ」を計る
 - ★ 伝えるべき「情報の量」を計る
 - ★ 伝える為の「手間」を計る

→ **Shannon**

「情報の量は伝えるのに必要な手間と一致」

情報の符号化

アナログデータ (連続データ)

↓ サンプルングなど

デジタルデータ (離散・有限データ)

↑ ここで扱う “情報” (元データ・情報源)

↓ ← ここで扱う “符号化”

通信用の形式のデジタルデータ

(特定 (一般には少数) の種類の文字の列)

文字データ → **ASCII code**

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	a	b	c	d	e	f
0	(control characters)															
1	(control characters)															
2		!	"	#	\$	%	&	'	()	*	+	,	-	.	/
3	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<	=	>	?
4	@	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
5	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	[\]	^	_
6	'	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
7	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	{		}	~	

7 bit で 1 文字を表す (実装上は **8 bit** にする)

ASCII code

A	01000001	J	01001010	S	01010011
B	01000010	K	01001011	T	01010100
C	01000011	L	01001100	U	01010101
D	01000100	M	01001101	V	01010110
E	01000101	N	01001110	W	01010111
F	01000110	O	01001111	X	01011000
G	01000111	P	01010000	Y	01011001
H	01001000	Q	01010001	Z	01011010
I	01001001	R	01010010		

モールス符号 (Morse code)

A	· -	J	· - - -	S	...
B	- ...	K	- · -	T	-
C	- · - ·	L	· - ..	U	.. -
D	- ..	M	- -	V	... -
E	·	N	- ·	W	· - -
F	.. - ·	O	- - -	X	- .. -
G	- - ·	P	· - - ·	Y	- · - -
H	Q	- - · -	Z	- - ..
I	..	R	· - ·		